

株主の皆さまへ

第52期報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日

ASAHI INTELLIGENCE SERVICE



ICT社会の発展を価値ある「サービス」と「人」で支える
旭情報サービス株式会社

証券コード:9799

ICT社会の発展を価値ある「サービス」と「人」で支える
旭情報サービス株式会社

創業の精神

社是



約束はきちっと果たす
決して迷惑はかけない
礼儀を重んじ
感謝の心を失わず
謙虚で素直に周囲の言葉を受けとめる

企業理念

旭情報サービスは
生き生きとした人づくりに基づき
創意工夫とたゆまぬサービス改善により
情報社会の健全な発展に貢献します。

株主の皆さまには、平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度の日本経済は、企業収益の改善や個人消費の持ち直しがみられ、緩やかな回復基調となりました。情報サービス産業におきましても、国内企業のIT投資が増加するなど、市場全体はプラス成長となっております。このような経営環境のもと、当社ではアウトソーシング事業への経営資源の集中を進めるとともに、案件ごとの採算性向上に努め、対前年で増収増益となりました。

今後の取り組みにつきましても、当社サービスの源泉である技術者の育成に注力し、より高度な顧客ニーズに応えるとともに、アウトソーシング事業の拡大による高付加価値化を進めてまいります。また、ITサービスのクラウド化への対応や多様な業種にわたる運用ノウハウを活かしたソリューションなど、当社の強み・得意分野の強化を図り、さらなる業績拡大を目指してまいります。2012年10月に新ビジョンを制定し、これを基にして企業風土の変革を進めてまいりました。これからも新ビジョンの浸透・実践によってよりお客様に喜ばれるサービスを提供し、経営基盤の強化を図ってまいります。

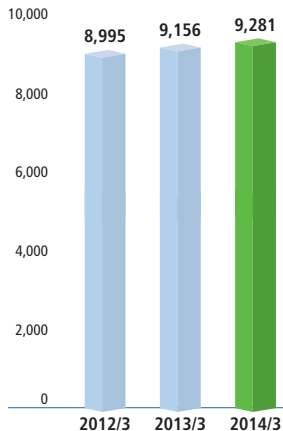
株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 田中博

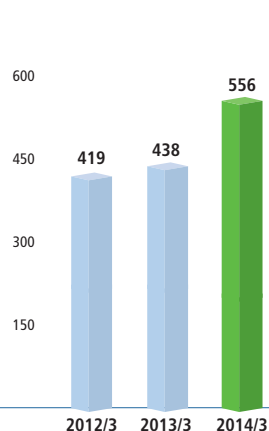
売上高

9,281百万円 (前期比1.4%増)



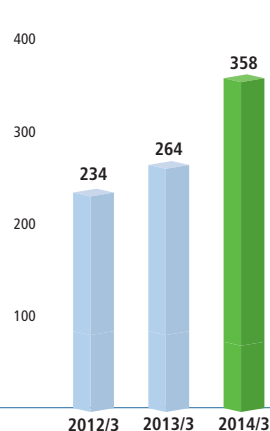
経常利益

556百万円 (前期比26.9%増)



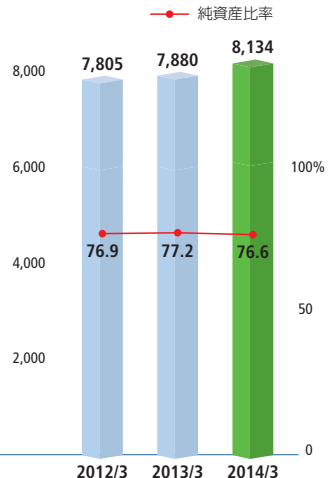
当期純利益

358百万円 (前期比35.6%増)



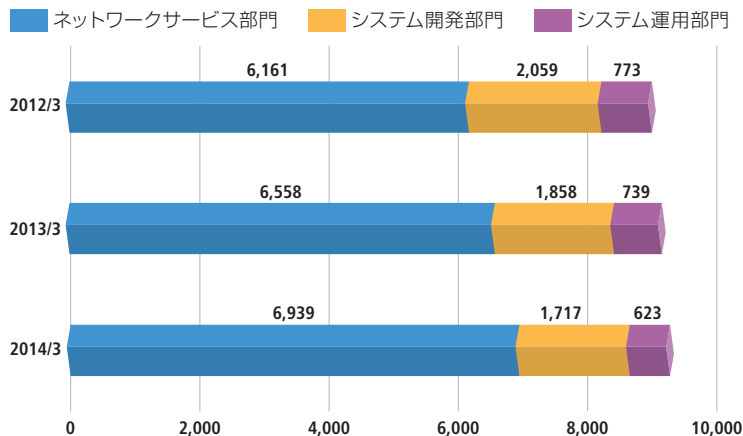
総資産 / 純資産比率

8,134百万円



売上高の推移

(単位：百万円)



ネットワークサービス部門

運用業務の効率化やコストダウンの要請は引き続き厳しかったものの、アウトソーシングでの受注拡大を図るとともに、当事業への技術者投入を積極的に推進した結果、売上高は6,939百万円（前期比5.8%増）となりました。

システム開発部門

業務用アプリケーション等の開発案件獲得に努めたものの、組込み関連業務の案件が低調に推移した結果、売上高は1,717百万円（前期比7.6%減）となりました。

システム運用部門

汎用系の運用やオペレーション業務は、市場の縮小とともに価格下落が継続していることから、汎用系技術からネットワーク系技術への移行に継続して取り組んだ結果、売上高は623百万円（前期比15.7%減）となりました。

貸借対照表

(単位：百万円)

	第51期	第52期
資産の部		
流動資産	4,670	6,352
現金及び預金	2,882	4,120
売掛金	1,360	1,596
その他	427	635
固定資産	3,210	1,782
有形固定資産	71	63
無形固定資産	12	15
投資その他資産	3,126	1,702
投資有価証券	1,062	656
保険積立金	704	704
その他	1,359	341
資産合計	7,880	8,134

	第51期	第52期
負債の部		
流動負債	1,712	1,814
固定負債	83	91
負債合計	1,796	1,906
純資産の部		
株主資本	6,130	6,253
資本金	733	733
資本剰余金	624	624
利益剰余金	5,128	5,253
自己株式	△ 355	△ 358
評価・換算差額等	△ 46	△ 24
純資産合計	6,084	6,228
負債純資産合計	7,880	8,134

資産の部

売掛金236百万円の増加、有価証券200百万円の増加、長期預金1,000百万円の減少、投資有価証券406百万円の減少などにより、前期末に比べ254百万円増加し、8,134百万円となりました。

負債の部

未払法人税等39百万円の増加、賞与引当金34百万円の増加などにより、前期末に比べ109百万円増加し、1,906百万円となりました。

純資産の部

繰越利益剰余金125百万円の増加、その他有価証券評価差額金21百万円の増加などにより、前期末に比べ144百万円増加し、6,228百万円となりました。

損益計算書

(単位：百万円)

	第51期	第52期
売上高	9,156	9,281
売上原価	7,384	7,351
売上総利益	1,772	1,929
販売費及び一般管理費	1,353	1,391
営業利益	418	538
営業外収益	33	30
営業外費用	12	12
経常利益	438	556
特別利益	—	25
特別損失	0	0
税引前当期純利益	438	581
法人税、住民税及び事業税	194	232
法人税等調整額	△ 20	△ 9
当期純利益	264	358

キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	第51期	第52期
営業活動によるキャッシュ・フロー	231	252
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 20	321
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 234	△ 236
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 22	337
現金及び現金同等物の期首残高	2,805	2,782
現金及び現金同等物の期末残高	2,782	3,120

営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前当期純利益581百万円、売上債権の増加236百万円、法人税等の支払い193百万円などにより、252百万円の資金獲得（前期は231百万円の資金獲得）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の売却による収入136百万円、有価証券の償還による収入100百万円、定期預金の払戻による収入100百万円などにより、321百万円の資金獲得（前期は20百万円の資金使用）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払い233百万円などにより、236百万円の資金使用（前期は234百万円の資金使用）となりました。

配当金についての考え方

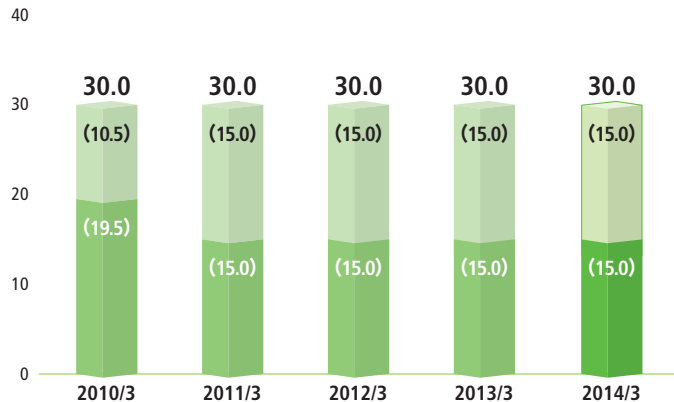
当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営上の重要課題の一つとしており、経営基盤の強化と長期的な収益の向上を維持するとともに、配当につきましては安定的かつ継続的に行うことを基本方針としております。

当期の期末配当は、当期の業績等を勘案し、1株につき15.0円とさせていただきました。この結果、年間配当金は前期と同額の1株につき30.0円（配当性向65.1%）となりました。

今後も株主の皆さまのご期待に添うよう株主還元を努めてまいります。

配当金の推移

■ 中間 ■ 期末 (単位: 円)



(参考)

1株あたり 当期純利益 (円)	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3
	15.7	24.5	30.1	34.0	46.1

会社概要

(平成26年3月31日現在)

商号	旭情報サービス株式会社 ASAHI INTELLIGENCE SERVICE CO.,LTD.
設立	昭和37年8月7日
資本金	7億3,336万円
従業員数	1,389名
主な事業内容	当社は、主として正社員がユーザー事務所に常駐して行う、ネットワークシステムの構築・運用・管理およびソフトウェアの設計・開発業務を主力とするほか、ホスト系コンピュータシステムの保守・運用・管理およびヘルプデスクなどの情報処理サービスを行っております。

役員

(平成26年6月20日現在)

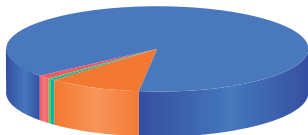
代表取締役社長	田中 博
常務取締役	根塚 隆司
取締役	濱田 広徳
取締役	高橋 範年
取締役	英保 吉弘
取締役	宮下 勇人
常勤監査役	信岡 良明
監査役	小野 一夫
監査役	三浦 州夫
監査役	増田 治美

株式の状況

発行可能株式総数	20,729,000株
発行済株式の総数	8,264,850株
株主数	2,999名

所有者別株式の分布状況

	(%)
個人・その他	89.04
金融機関	10.00
外国法人等	0.17
証券会社	0.12
その他法人	0.67



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
旭情報サービス社員持株会	907,193	11.65
大槻幸子	413,520	5.31
三井住友信託銀行株式会社	374,000	4.80
日本生命保険相互会社	176,020	2.26
小野一夫	173,000	2.22
大槻武史	159,300	2.05
大槻剛康	140,930	1.81
三菱UFJ信託銀行株式会社	139,100	1.79
大槻幸史	136,200	1.75
平野民藏	136,000	1.75

(注)持株比率は自己株式(478,148株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	 0120-782-031
インターネット ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座をお持ちの 株主様	お取引の証券会社にお問合せください
証券会社に口座をお持ちで ない株主様	左記電話照会先にお問合せください (三井住友信託銀行株式会社 証券代行部)
特別口座の株主様 (株券電子化以前に「ほふり」を利用 されていなかった株主様)	

株主懇談会について

当社は、株主の皆さまに当社の現状および今後の事業展開についてご説明し、オープンな意見交換ができるようにと、定時株主総会終了後に株主懇談会を開催しております。株主懇談会で頂戴しました多くのご意見・ご要望を今後の経営に生かし、株主の皆さまのご支援にお応えしていく所存です。

株主優待制度のご案内

株主の皆さまのご支援に感謝し、毎年、年1回の株主優待を実施しております。

贈呈基準

毎年3月31日現在で、1,000株以上お持ちの株主様

優待内容

「カタログギフト」5,000円コース
グルメ、伝統工芸品、憩いの体験、家庭用品など約330点の商品の中から、
ご希望商品1点をお選びいただけます。



環境に配慮した
植物油インキを
使用しています。